

かがやきカレッジ2019

今年のテーマ 「働くことについて考える

受講
無料

〈要申込〉

岐阜協立大学は、50年余にわたり刻んできた岐阜経済大学の歴史を引き継ぎ、校名も新たにさらなる発展へ向けて歩み始めました。

引き続き、「かがやきカレッジ」を通して、地域の皆さんに生涯学習の場を提供するとともに、地元の大学として皆さんの「学び」に貢献してまいります。

本年度の「かがやきカレッジ」は、「働く」をテーマに開講します。

いま話題の“働き方改革”をはじめとして、本学の経済・経営分野、新たに設置した看護分野での教育・研究まで、あなたも「働くことについて考えてみませんか。

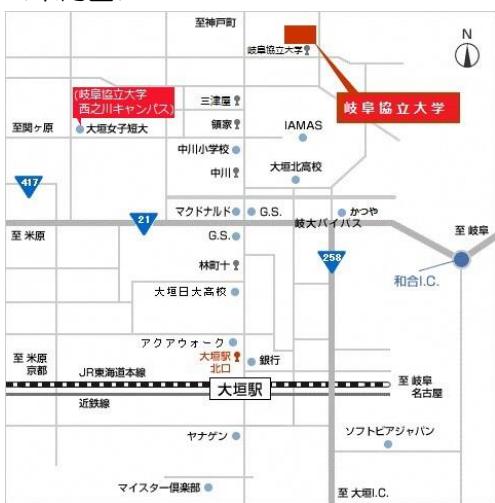
多くの市民の皆さまの参加をお待ちしています。

- 日 時：2019年7月4日～10月24日（全8回）
18:30～20:00 ※各回の詳細は裏面をご覧ください
- 場 所：岐阜協立大学 4号館1階・4101教室（大垣市北方町5-50）
- 受 講 料：無料（要申込）
- 定 員：100人（先着順）
- 申込期間：6月1日以降随時
- 申込先：岐阜協立大学総務課
TEL: 0584-77-3511
FAX: 0584-81-7807
E-mail: soumu@gku.ac.jp
- 電話、FAX、E-mailにて住所・氏名・電話番号をお伝えください
 - E-mailの場合、タイトルを「かがやきカレッジ受講希望」としてください



（2018年度の講座の様子）

＜案内図＞



バス時刻表（運賃有料 片道230円）

◆大垣駅北口→大学方面行き（平日）

大垣駅北口④ 発	岐阜協立大学 着
17:40	17:52

◆大学→大垣駅北口方面行き（平日）

岐阜協立大学 発	大垣駅北口④ 着
20:05	20:17

お車でお越しの場合は、大学北側駐車場をご利用ください



大垣市マスコットキャラクター
おがっさい おあむちゃん

主催：大垣市 共催：岐阜協立大学

	開催日	テーマと概要	講 師
1	7/4 (木)	【スポレクで健康寿命を延伸！－レクのある生活で、楽しく豊かな人生を－】 かかやきカレッジのような生涯学習や文化芸術活動はもちろん、楽しいスポーツやレクリエーションなどの活動は、心身を適度に刺激し、より長く健康的で豊かな生活を創り出します。この講座では、シニア層の健康体力問題を“他人事”ではなく“私くし事”にして考えます。受講者の皆さんと一緒に、日常生活で適度なスポレク活動を習慣化するコツを考え、その効果を自ら知ることのできる測定法が体験を通して学べる内容です。	経営学部教授 古田 康生
2	7/11 (木)	【IT 活用による『働き方改革』－テレワークによる柔軟な働き方とは？－】 現代日本は、少子高齢化が急速に進展し、生産年齢人口の減少が続いている。また、育児や介護との両立をしたい方、通勤が困難な状況の方など、働く方のニーズが多様化しています。働き方改革は、この課題解決のため、ICTによる生産性向上と組織改革を目指しています。そればかりでなく、ICTによる多様な人材の労働参加促進を目標としています。働き方改革の具体的な取り組みについて、様々な事例を紹介したいと思います	経営学部講師 佐々木 喜一郎
3	7/18 (木)	【みんなでつくる“わたしたちのまち”－地域の支え合いと生きがい－】 誰にとっても暮らしやすい地域は自分自身にとっても住みやすい地域です。地域で自分らしく暮らし続けるためには何が必要なのでしょう。「福祉、孤立、支え合い」といったキーワードから考えていきます。	経済学部准教授 後藤 康文
4	7/25 (木)	【人生を輝かせるための3つの秘訣－働きがい・やりがい・生きがい－】 長く病院という医療提供の場で看護実践者として働く中で求めてきたことに加え、現在、大学という教育の場で学生とともに、看護という仕事の役割や機能・目的について探求しています。その過程は、「共に生きる」「豊かに生きる」ことそのものであると実感しています。看護職として働くことの醍醐味をお伝えし、参加の皆さんと共に、豊かに輝く人生を考える機会にしたいと思います。	看護学部准教授 馬場 貞子
5	10/3 (木)	【労働を倫理的に考える－資本主義の起源と未来－】 労働は本当に価値の源泉でしょうか。勤勉に働くことは、どのようにして、資本主義の成立にかかわってきたのでしょうか。そして、そもそも働くという人間の営みは、いったい何を意味しているのでしょうか。 <経済の論理>をめぐる国家や企業の攻防、<宗教の倫理>をめぐるカトリックとプロテstantの攻防といった、<経済の論理>と<宗教の倫理>の織り成す資本主義の壮大なドラマをたどり、資本主義の未来を考えます。	経営学部教授 平手 賢治
6	10/10 (木)	【現代における国際分業体制の問題点－不安定化する雇用と賃金－】 19世紀ないし20世紀は、概ね先進国本位の国際分業体制が敷かれた時代と言えますが、21世紀になった現在は、製造業の分野を中心に先進国と新興国が激しい網引きを展開する時代に突入しております。今回は「自由貿易 VS 保護貿易」というお馴染みの切り口から、経済グローバル化による受益者と受難者を浮き彫りにしつつ、研究者と政策立案者、政治家の認識にズレが生じていることにも触れ、冷静な議論の土台つくりを試みたいと思います。	経済学部准教授 高橋 直志
7	10/17 (木)	【人生100年時代に備えて－“生涯現役”を目指す健康対策－】 日本では世界に先駆けて超高齢化社会を迎える、同時に若者は減少の一途を辿っています。日本人が100歳近くまで生きていられるならば、80歳ぐらいまでは現役であるべきです。すなわち仕事ができる、社会貢献ができる肉体と気力が備わっていなければならぬと考えます。自分のからだを客観的に理解することが必要です。今回は、予防医学の視点から肉体と気力が衰えない健康管理の方法について一緒に考えてみましょう。	看護学部教授 佐々 敏
8	10/24 (木)	【『働き方改革』について考える－本当にブラックなのは誰？－】 まず、「働き方改革」の現状を報告します。言葉が躍っているという部分もあるかもしれません、それでも確実に進んでいることもあるでしょう。この改革を阻むいくつかの要素があると思いますが、私は「過剰なサービス提供」と「モンスター化する顧客」という課題認識なしに、雇用主の労務管理だけを責めても課題は解決しないと考えています。課題解決の一つは、サービスに対する適正な対価の支払いであると考えています。そういう視点を交え、考えてみましょう。	経営学部教授 竹内 治彦

